

閑話 2 題

JJ1SXA/池

表題の「閑話」とは「むだばなし」というような意味だ、「閑話休題」とは、話しの中で本題から逸れた話題を話した後に、本題に戻す際に使う言葉。

トランプ

トランプと聞けば、今を時めくアメリカ大統領のことだ、彼の最大の強みは彼が何を考えているかを誰も予測できないことだと言われる、破天荒な言動で氏は自らの予測不可能性を最大限高め、効果的に活用することに成功している、しかし、「氏の言動をよくよく詰めていけば、見えてくる」と言う人がいる、ごもつとも。

トランプ大統領の話から一足飛びに離れた別話題、明治初期の話、来日した西洋人がカードゲームに興じる間、盛んに「トランプ(trump)」という言葉が発していた、本来は「切り札」という意味だ。

ところがそれを聞いた日本人は、カードあるいはゲームの名前がトランプだと思い込んだようだ、英語でいう「プレーイングカード」が、なぜ日本でだけトランプと呼ばれるのかを「日本国語大辞典」は、日本人の思い違いだと解説している。

下戸

文武天皇の御世に編まれた「大宝令」(701 年)は、家人が 6 人以上の家を「上戸」、4～5 人の家を「中戸」、3 人以下を「下戸」と定め、納税額を区分した、また、「上戸八瓶下戸二瓶」は、婚礼時に許された祝い酒の量という。

酒がいける口を「上戸」、飲めない人を「下戸」と呼ぶのは、このような酒の割り当て方に由来するとの説もある(「日本酒の世界」小泉武夫著)。

寒い時期は、ビールの喉越しより、五臓に染み渡る熱燗に恋しさを募らせる左党も多いだろう、「上戸」も量を過ぎると、人で無くなることがあるから気をつけたい、正体をなくすまで酔っては、折角の美酒が泣く、では、どのくらいが適量か？

厚生労働省が推進する国民健康づくり運動「健康日本 21」によると、次のようになっている。

焼酎(アルコール度数 25 度)／約 110 ミリリットル(0.6 合)

ビール(アルコール度数 5 度)／500 ミリリットル(中瓶 1 本分)

日本酒(アルコール度数 15 度)／180 ミリリットル(1 合)

ワイン(アルコール度数 14 度)／約 180 ミリリットル(ボトル 4 分の 1)

ウイスキー(アルコール度数 43 度)／60 ミリリットル(ロックのダブル 1 杯)

これは下戸対象のことかと眼を疑った私は、やはり上戸か？いわゆる一般的な呼称では、のんべえか？(笑)

(2025 年 6 月記)